

# 秋の火災予防運動

11月9日(月)～11月15日(日)

## 「無防備な 心に火災が かくれんぼ」

### 【住宅防火いのちを守る7つのポイント】

- 3つの習慣
  - 1 **寝たばこ**は、絶対やめる。
  - 2 **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - 3 **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4つの対策
  - 1 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
  - 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
  - 3 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
  - 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

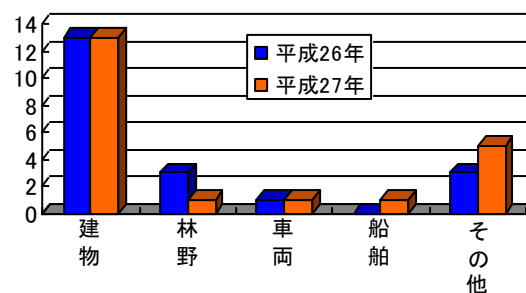


## 平成27年上半期の火災・救急速報

### 火災概況



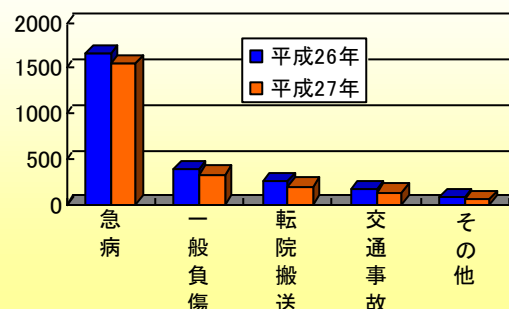
平成27年上半期の宇和島地区管内で発生した火災は21件で、前年の20件に比べ1件の増加となっています。また、月平均出火件数としては3.5件となり、およそ9日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別では、建物火災13件、林野火災1件、車両火災1件、船舶火災1件、その他火災5件となっています。出火原因では、たき火4件、放火・放火の疑い2件、電気配線2件、取灰2件などとなっています。



### 救急概況



平成27年上半期の救急出場件数は2,263件で、前年に比べ273件減少し、搬送人員は2,113人で259人減少しています。事故種別では、最も多いのが急病で1,557件、次いで一般負傷325件、転院搬送197件、交通事故130件などとなっています。なお、**救急車で搬送された人の約43%は軽症**です。この中には、本来、救急車が必要でなかった人や、救急車をタクシー代わりに利用する方も含まれている可能性があります。



## 少年消防クラブ夏季研修

今年も8月2日、3日の2日間、愛南町の山出憩いの里温泉キャンプ場において、鶴島小学校少年消防クラブ・住吉小学校少年消防クラブ・みどり寮少年消防クラブ合同で夏季研修を行いました。参加したクラブ員43名は、AEDの取扱いを交えた心肺蘇生法、訓練用水消火器を使った消火訓練など、夏の日差しを浴び、楽しく、お互いに協力しながら学ぶことができました。少年消防クラブ員の今後の活躍が非常に楽しみです。



心配蘇生法の研修



水消火器を使ったゲーム



夕食のカレー作り

# 第11回宇和島地区幼年消防大会

去る7月10日（金）9時30分から12時まで、南予文化会館大ホールにおいて、『第11回宇和島地区幼年消防大会』が開催されました。

この大会には、宇和島地区管内の幼年消防クラブ員、婦人防火クラブ員、園関係者、消防関係者、一般参加者たち総勢約1,000人が参加しました。当地区では、幼年消防クラブ員相互の連帯協調と幼年期における「火遊びはぜったいしません!!」の防火安全思想を養うことを目的として3年ごとに幼年消防大会を開催しています。

大会では、幼年消防クラブ員たちが、そろいの法被姿などで元気よく、合奏、遊戯、はしご操法などの演技を次々に披露して一生懸命に防火PRしました。また、宇和島伊達400年祭観光宣伝隊の「伊達にゃんよ」も応援に駆けつけ、最後に「伊達にゃんよ」と一緒に「火遊びはぜったいにしません!!」と防火のちかいを行い、本大会を盛会裏に終了しました。



立正保育園幼年消防クラブ



元気の泉保育園幼年消防クラブ



石丸保育園幼年消防クラブ



丸穂保育園幼年消防クラブ



たちばな・尾串・済美・石丸・元気の泉・丸穂  
婦人防火クラブ



高光・みゆき・大浦保育園幼年消防クラブ



尾串保育園幼年消防クラブ



宇和島済美保育園幼年消防クラブ



愛和聖母幼稚園・岩松保育園・村井幼稚園・  
奥南保育園・吉田愛児園幼年消防クラブ

## インフルエンザから身を守りましょう！

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人ひとりが「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。



### インフルエンザ予防対策!!

#### (1) 正しい手洗い

※外出先から帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに洗う。  
※ウイルスは石鹸に弱いので、手洗いには石鹸を使う。

#### (2) ふだんの健康管理

※インフルエンザは免疫力が弱っていると感染しやすくなります。十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。

#### (3) 予防接種を受ける

※予防接種（ワクチン）は、インフルエンザが発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ効果があります。

#### (4) 適度な湿度を保つ

※空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。加湿器などを使って、適度な湿度（50%～60%）を保つことも効果的です。

#### (5) 人混みや繁華街への外出を控える

※インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。



うがいの励行



マスクの着用



手洗いの徹底